

令和3年10月22日(金)~24日(日) 北海道函館市にある「海上自衛隊函館基地」「陸上自衛隊函館駐屯地」並びに「自衛隊函館地方協力本部」での基地研修に参加してきました。参加者は大高会長、藤本副会長以下15名でした。北海道ということでマフラーやダウンジャケット等暖かい服装を用意した方もおられましたが、当日の大和の気温13℃、函館も13℃と気温差がなく過ごしやすい3日間でした。これまでの研修だと昼食は基地内の食堂で隊員とともにカレーを食すのが恒例となっておりますが、コロナ禍のため関係者以外は食堂に入ることができず、宿泊先の目の前にある金森赤レンガ倉庫で思い思いの地元グルメに舌鼓を打ちました。

さて、午後はいよいよ基地研修のスタートです。まずは第42代 海上自衛隊 函館基地隊司令小沢1等海佐に表敬訪問し、続いて総務科長の柏木3佐より函館基地隊隷下部隊の任務や掃海艇についての講話がありました。特に、機雷の処分方法については、機雷処分具を艦上でリモートコントロールして対応するとのことでしたが、機雷処分具が無い時は、処分員自らが機雷まで潜水し、爆薬等を仕掛けて処分すると聞いて、本当に命がけて国を守ってくれたらんだと再認識させられました。また、説明の要所々々では、小沢司令が直々にユーモアを交えながらの貴重なご説明をいただき、皆さん大変喜んで聞き入っていました。大変勉強になりました。ありがとうございました！





大変貴重なお話をお聞きした後は、函館港に移動し、掃海艇「あおしま」への乗艦見学です。

「あおしま」は、基準排水量510トン、全長54mで「すがしま」型掃海艇の9番艦として平成17年2月に就役したそうです。自衛隊艦としては珍しく船尾を港に接岸しています。すぐ隣に民間船が接岸するのでこのように係留するとの説明でした。掃海艇は一見鉄の塊に見えますが、機雷の除去を主な任務にしている為、磁力を帯びないように木造船だそうです。掃海艇の艦橋から見る函館の街もとても綺麗でした。

また、直々に艇長の島原1尉や乗組員の方による機雷処分具などの装備品の説明もいただき、大変勉強になりました。ありがとうございました！





掃海艇「あおしま」を後に、車で 15 分ほど移動すると陸上自衛隊函館駐屯地に着きました。当会としては初めての陸自での研修です。正門をくぐると目の前に 74 式戦車が展示してありました。厚木基地内では戦車をあまり見ないものですから車内に歓声が上がります。駐屯地内では 2 班に分かれ「箱館」戦争や旧軍の装備についての説明を受けました。最後に戦車の前で記念撮影をしないと伝えられ、わざわざ隊舎から駐屯地の看板を外し戦車の前まで持ってきてくださいました。大変素敵な思い出になりました。誠にありがとうございました！



陸上自衛隊函館駐屯地を後にして次に向かったのは、自衛隊函館地方協力本部です。函館地方協力本部函館リクルートセンターは、函館合同庁舎 6 階にあり、眺めも良くまた一般市民が入りやすく楽しめるようにと戦車や航空機の模型やペーパークラフト等がおいてあり、とても温かい雰囲気でした。本部長の久保 1 等海佐より直々に函館地方協力本部の任務等についてユーモアを交えた貴重なお話をいただきました。自衛官の募集状況や募集の大切さなど、大変勉強になりました。ありがとうございました！



基地研修終了後はホテルで小休憩し、函館山の麓にあるセンチール・ラ・セゾンで地元協力会 滄海友之会様主催での意見交換会に参加させていただきました。敷地内にきれいなチャペルがあり、地元では結婚式場としても人気があるお店だそうです。料理も大変おいしく、お酒も進み素晴らしい意見交換会になりました。滄海友之会 森川会長をはじめ役員の皆様との大変貴重な意見交換をさせていただきました。

残念ながらコロナ禍の為、自衛官の皆様にはご参加いただけませんでしたが、函館基地隊司令の小沢様より日本酒の差し入れや立派な盾をお土産として頂戴しました。幸甚の至りです。重ね重ねありがとうございました。また、今回の意見交換会を快くご対応してくださいました佐々木事務局長に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。





意見交換会終了後は、折角函館山まで来たのですから帰りは徒歩組、タクシー組、夜景組に分かれそれぞれ函館の夜を楽しみました。私は夜景組にしましたが、車中運転手さんが色々解説してくれてとても楽しかったです。

2日目は、函館朝市や立会岬、函館山に大船遺跡、そして北海道唯一の国宝である中空土偶が展示してある縄文文化交流センター、最後に五稜郭を観光してきました。特に、大船遺跡は今年7月に世界遺産に登録されたばかりとあって皆さん興味津々でした。





夕食は、函館海鮮料理「海寿」にて、少人数毎にテーブルに分かれて活イカや活エビの刺身など新鮮な海産物をいただきました。高橋料理長のはからいで水揚げの少ない中、貴重なビッグサイズの活イカを用意していただき、また、活ボタンエビなどは活きが良すぎたため器から飛び出るほどで、どちらもとても美味しかったです。ありがとうございました！

さて、最終日。8時半にホテルを発つ予定でしたが、私はちょっと早起きして土方歳三最期の地碑まで一人で行ってきました。朝、6時半にも関わらず私の他にも3名ほどが訪れていて各々手を合わせていました。



帰る道すがらタクシーの運転手さんから「函館の人はみな旧幕府軍が好きだったから地名に彼らの名前を付けたんだよ」という話を聞きました。街を流れているなんとなく温かい雰囲気を感じたのは、そんな函館の人たちの気持ちが今も残っているからなのかもしれませんね。また、緊急事態宣言は明けたものの朝市もコロナ禍以前に比べたらまだまだ人出が少ないそうでした。

私個人としては初めての北海道、初めての函館ということで見るものすべてが新鮮で非常に勉強になった研修でした。

最期になりますが、今回の研修にあたり色々ご尽力くださいました函館基地隊の小沢司令や土屋総務係長、蒼海友の会 森川会長や佐々木事務局長をはじめ役員の皆様方、函館基地を推薦して下さった二川航空集団司令官（前大湊地方総監）、そしてご支援をいただきました関係各部の皆様方に深く感謝いたします。

誠にありがとうございました。

(HP・広報委員 菊地 聡)